

に一応の体制ができた。

明治30年創設の理学部は、現在10教室、14施設を持ち、それぞれの図書室には、主として研究用の図書約21万冊、学術雑誌約5000タイトルを所蔵している。永い歴史と伝統を持つ各図書室と中央図書室との関係は、資料、予算、人的な面からいかに調整を計ってゆくかは、今までの議論の中心テーマであったし、まだ残された課題でもある。

本年4月よりスタートした中央図書室は、まだ日も浅く、蔵書も少ないことなどから利用者は少ない。しかし、徐々に内容を充実するため努力している。

又、昭和54年4月以降受入の理学部全体の書名

目録、著者目録及び中央図書室分の分類目録、さらに理学部雑誌目録の編成を行っている。

その他、中央図書室（図書掛）として、学部全体の図書関係の情報（各種データ）の把握に力を注いでいる。

現在の職員3人で閲覧業務も含め、まだきこまかい十分なサービスに手がまわらないのが実状であるが、幼児期より大きく成長するよう頑張っている。

今後の第二次、第三次整備計画についても、学部全体及び附属図書館、各局図書室の理解と協力を仰ぐ次第である。



附属図書館図書の館外貸出しについて

附属図書館開架図書館外貸出し手続き、及び取扱いの変更にもなって、図書館図書の館外貸出を下記の通り実施致します。御利用下さい。

(1) 貸出手続き

図書の貸出しの手続きには学生証、職員証を呈示下さい。開架図書は開架図書室カウンターに、書庫内図書は閲覧貸付掛カウンターに申し出て下さい。

(2) 貸出期間と冊数

身 分		期 間	書庫・開架貸出 合 計 冊 数
職 員	教 官	6ヶ月以内	30冊以内
	教官以外の者	1ヶ月以内	10冊以内
学 生	大学院学生	1ヶ月以内	10冊以内
	学部学生	2週間以内	5冊以内

但し、開架図書貸出期間は身分を問わず2週間以内

(3) 実施 昭和56年4月1日より実施

※ 図書館利用案内 p.8～9「館外貸出」の訂正

京都大学附属図書館閲覧貸付掛